

ひがしっ子

下野市立国分寺東小学校
令和元年度 第8号
R元.12.10発行



持久走記録会

11月20日、好天に恵まれる中、持久走記録会を開催することができました。子供たちは、たくさんの保護者・地域の方々の励ましの声援を受けながら、自分の目標に向かって精一杯がんばりました。



自由参観・授業参観・懇談会

午前中の持久走記録会と合わせて自由参観を実施しました。また、午後は、授業参観、懇談会を行いました。保護者の皆様には長時間にわたり、大変お世話になりました。

また、更生保護女性会の皆様には、懇談会中の児童預かりで大変お世話になりました。この場をお借りして、御礼申し上げます。



家庭教育学級「ネット時代の歩き方講習会」

自由参観の中で、栃木県青少年育成県民会議、下野市青少年育成市民会議のご協力により、ロジカルキット代表の下田太一先生を講師に迎えて、5・6年生児童と保護者対象の「親子学び合い事業」を兼ねた、PTA研修部主催の家庭教育学級を開催しました。保護者も多数参加され、「スマホとどう向き合っていくか」「スマホを使う前に知っておくべきことは何か」など、分かりやすく教えていただきました。児童・生徒がSNS経由で犯罪に巻き込まれる事件が増加する中、大変参考になるお話でした。



★下田先生のお話から★

- スマートフォンを使うことは生活を変えること。今の20代の若者は70代の高齢者よりも外へ出る機会が少なくなった。それは、外へ出る必要がなくなったから。（「買い物はネットショッピングで」「オンラインゲームはインターネット上の公園」「おしゃべりはラインで」etc）それがすべてスマホでできてしまう。
- スマートフォンを使うことは、スマホの中の街に出かけるようなもの。ところが、実際の日常生活では抵抗があってやらないことを、スマホの中の街では抵抗なくやってしまうがち。（例えば「会ったこともない人と会話をしたり、その人の意見を信用したりする」）
- スマホを使う上で大切なことは、「**しっかりとした目的をもって使う**」こと。そして「**自分をコントロールする力をもつ**」こと。そうでないと、インターネットの魔法にかかって、ネットの世界にのみこまれてしまう。



お寄せいただいたご感想の中から、いくつかご紹介します。

○持久走記録会

- ・一生懸命がんばって走る姿にとっても感動した。成長が感じられた。
- ・あきらめずに最後まで走り抜く姿が見られて良かった。たくさんほめてあげたい。

○授業参観

- ・お互いの意見を出し合いながら話し合っていく授業で、(親も)勉強になった。
- ・7月と比べて、落ち着いて話を聞く姿に成長を感じた。
- ・先生が温かく子供を見てくださるのが伝わってきた。日頃のご指導に感謝したい。

○懇談会

- ・保護者が気になっていることを聞くことができ、なるほどと思った。
- ・グループでのお話が楽しかった。普段話したことがない方と交流できてよかった。

○家庭教育学級

- ・小学生でもスマホをもつことが少なくない時代で、とても参考になった。
- ・子供の成長のためにスマホがどう役立つのか、しっかり考えたい。
- ・インターネットの便利さと怖さが勉強できて良かった。家庭でも話題にして使い方を考えたい。何のためにどのように使うのか、親子で話し合うことが大切と感じた。

第2回 あいさつ交流、小中一貫の日授業公開



下野市では、義務教育9年間を見通して段階的かつ系統的指導を行う「小中一貫教育」の充実に取り組んでいます。



11月18日(月)から22日

(金)には、毎朝国分寺中学校の3年生(本校卒業生)が来校し、本校児童(企画委員)といっしょに校門であいさつしながら児童を迎えました。あいさつでふれ合うことを通して、先輩への親しみやあこがれ、中学校生活への期待を高めることができました。



また、27日(水)には、国分寺中と国分寺小の先生方が多数来校され、2年生から6年生の全学級で授業を参観しました。放課後の研究会では、教科ごとに小学校と中学校それぞれの授業のよさや課題、9年間を見通した指導をするための手立て等について話し合いました。

校内読書週間 11月25日~29日

本に親しみ読書の楽しみを味わわせるきっかけ作りを目的に、校内読書週間を実施しました。期間中は、朝の活動を全て10分間読書にして本を読む時間をつくりました。また、図書委員会主催のイベントや、「市立図書館の『私の推せんする本』への応募」、「先生の読み聞かせ」、「読書ビンゴ」なども行いました。たくさんの児童が図書室を訪れ、並ぶ人があふれる日もありました。



また、図書ボランティア(保護者)の皆様には、連日、足をお運びくださり本の整理や貸出・返却の手伝いなどをしていただきました。ありがとうございました。

ご家庭でも家読りレーに取り組んでいただき、ありがとうございます。今後も児童のよりよい読書習慣の育成に、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思っております。